**『相関社会科学』執筆要綱（一般論文）**

『相関社会科学』編集委員会（2025年4月）

* 論文提出に際しては、執筆者（共著の場合は代表者）の自宅住所・電話番号・メールアドレス、所属 先の正式名称、論文の字数を明記した書類および倫理チェックシート（様式指定）を添付してください。メールアドレスは、論文投稿・刊行以後も継続して連絡が取れるものを記載してください。
* 原稿は、必ずコンピュータを用いて作成してください。
* 論文の分量は、16000～24000 字**（厳守）**（注・参考文献・図表等含む）とします。（なお、図表分の 字数への換算に関しては、本誌は本文１ページが 21 字×38 行の 2 段組になっていますので、それを 基準に図表の大きさ等を勘案してお考えください。投稿時には概算でけっこうです。）
分量を超過した論文については、編集委員会より縮小のお願い等をすることがあります。また、場合 によっては掲載決定を取り消すことがありますので、あらかじめご了承ください。
* 使用言語は、原則として日本語とします。
* 投稿にあたっては、別途定める「文献挙示の『相関社会科学』方式」および本要綱に従って原稿（word ファイル）を作成し、連絡先等が記載された書類および倫理チェックシートとあわせ、2025年7月31日（木）（必着）でメールにて本誌編集委員会（editorial-board\_soukann@waka.c.u-tokyo.ac.jp）にご提出ください。
* レフェリー審査の際に匿名性を確保するため、投稿論文本体に、執筆者の氏名・所属などを記入しな いようにしてください。また、執筆者ご自身の論文や著書に言及する場合には、「拙稿」などの表現 は避け、他の文献と同様の形式で引用するようにしてください。
* 投稿を取り下げる場合には、メールにて編集委員会まで必ずご連絡ください。
* レフェリー審査の結果掲載を許された論文については、編集委員会およびレフェリーから、別途、加筆・修正・改稿などの指示を出す場合があります。その場合には、論文の修正箇所およびどのように 対応したかのかについての概要をリプライレターとして文書化し、修正原稿と共に提出してください。
* 執筆・論文投稿に際しては、東京大学科学研究行動規範を遵守すること。
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/codeofconduct/>
* 原稿の書式は以下の通りです。
	+ 章・節タイトル
		- 章・節番号（すべて半角を基本、ただし全論文で統一されていれば可）
			* 大項目：ローマ数字 Ⅰ.
			* 小項目：ローマ数字＋アラビア数字・・・Ⅰ.1.
	+ 章・節間
		- 章と章の間は必ず1行開ける（論文間で統一）
		- 節と節の間は任意（論文間で統一しない）
	+ 註
		- 註と文献リストは別にする。註は論文の最後にまとめて示す（脚注形式はご遠慮ください）
		- 註のタイトル名を「註」とする
		- 体裁
			* 本文中＝(1)という形で、括弧つきのアラビア数字を上付きに
			* 文末脚注＝1.という形で、括弧なしアラビア数字、数字に加えて半角ピリオド
		- 註内の文頭ラインを揃える
	+ 文献
		- 文献リストについては、別紙「文献挙示の『相関社会科学』方式」を参照
		- 文献表のタイトル名を 「文献」と統一
		- 各著作の冒頭は揃える。冒頭に「・」などは不要
		- 2行にわたる場合は、2行目を全角4文字分空ける
		- 同一著者の場合、「――――」（ダッシュ4文字分）とするか、繰り返すかは、著者の指示に従う
	+ 本文中の括弧
		- 本文中の括弧については、全角・半角が論文中で一貫していれば可
		- ただし、文献リストにおけるものは、すべて半角で統一（「文献挙示の『相関社会科学』方式」参照）
	+ 図表：本文との間は一行アキ
	+ その他、本文について
		- 句読点：「、」（てん）「。」（まる）全角
		- 数字
			* 1桁は全角、2桁以上は半角
			* 4桁以上の場合、区切りを設ける場合は「,」カンマ（半角）　例4,000
		- 欧文は全て欧文半角文字（ただし、和文との間が開きすぎないように）
		- カンマ、ピリオド、コロン、セミコロンの後は半角空き

〒153-8902　東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学　大学院総合文化研究科　国際社会科学専攻　相関社会科学コース

『相関社会科学』編集委員会

E-mail：editorial-board\_soukann@waka.c.u-tokyo.ac.jp